

GPA 制度本格導入後の成績評価を考える

2010 年 7 月 7 日 (水) 14:00~16:45

東 1 号館 2 階 1202 教室

(一橋大学 国立・東キャンパス)

◆ プログラム

開会挨拶

14:00~14:05

副学長挨拶

14:05~14:10

盛 誠吾 副学長
(教育・学生担当)

趣旨説明

14:10~14:15

筒井 泉雄
大学教育研究開発センター長

第 1 講演

14:15~14:40

青木 人志氏 (法学研究科)
「GPA 制度の本格導入と課題」

第 2 講演

14:40~15:05

松塚 ゆかり氏 (大学教育研究開発センター)
「GPA 本格導入のインパクト」

(15:05~15:15 休憩)

第 3 講演

15:15~15:40

上野山 達哉氏 (福島大学)
「GPA の卒業要件化と学生の変化」

ディスカッション

15:40~16:40

司会 宮地 尚子 (社会科学研究科)
朴澤 泰男 (大学教育研究開発センター)

閉会挨拶

16:40~16:45

筒井 泉雄 大学教育研究開発センター長

趣 旨

今年度の学部入学者から、GPA が卒業要件となりました。それによって、学生の履修行動や学習状況はどう変わるのでしょうか。教員が成績評価を行う際は、いかなる課題が生じるのでしょうか。そして大学全体としては、どのような方策を行う必要に迫られるのでしょうか。本学の成績評価の制度と現状を踏まえ、すでに GPA を卒業要件化した他大学の貴重な経験をも共有しつつ、今後の GPA 制度の運営や成績評価のあり方を考えてみようというのが、本 FD のねらいです。